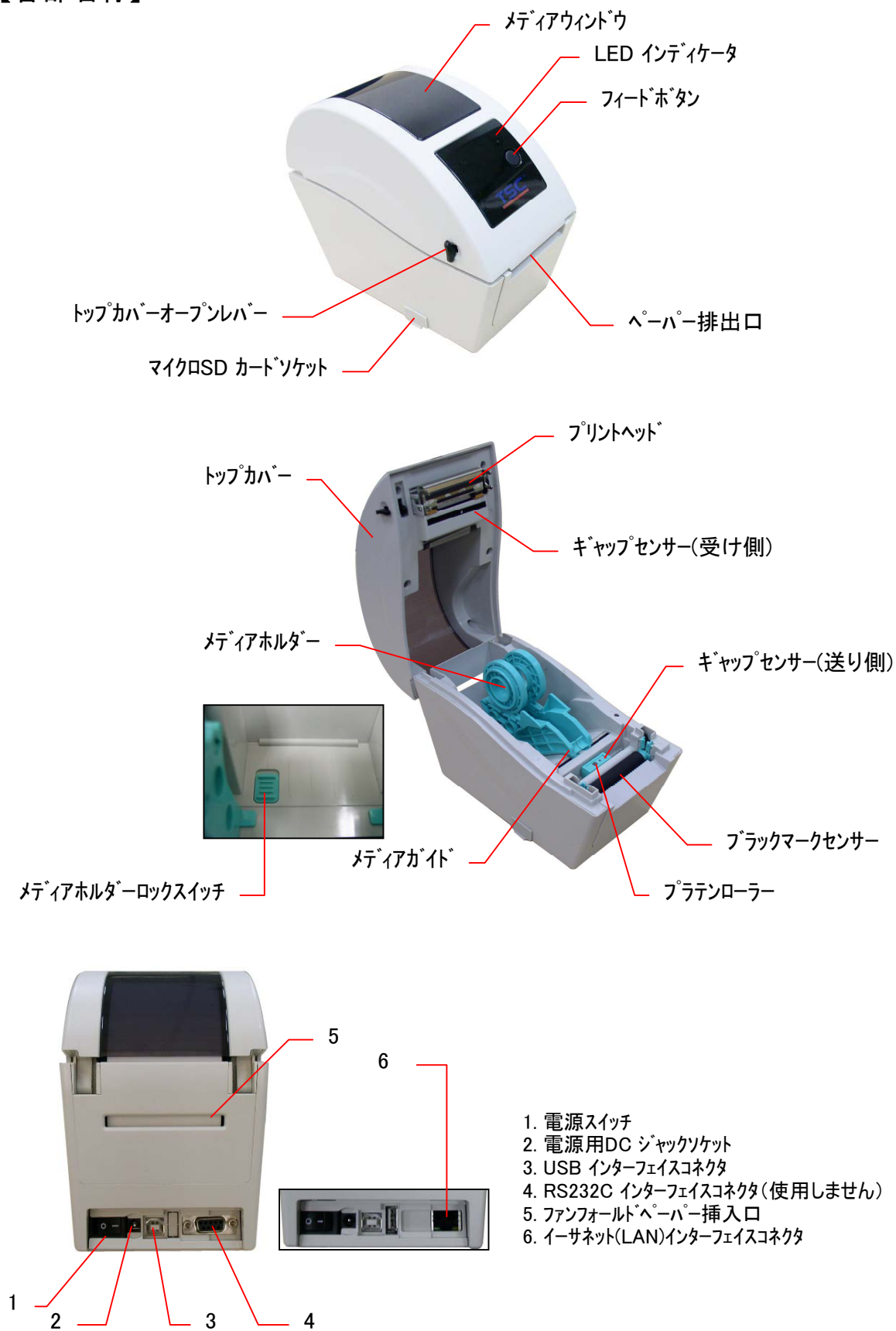


# TSC TDP-225 Series ラベルプリンタ 説明書

## 【各部名称】

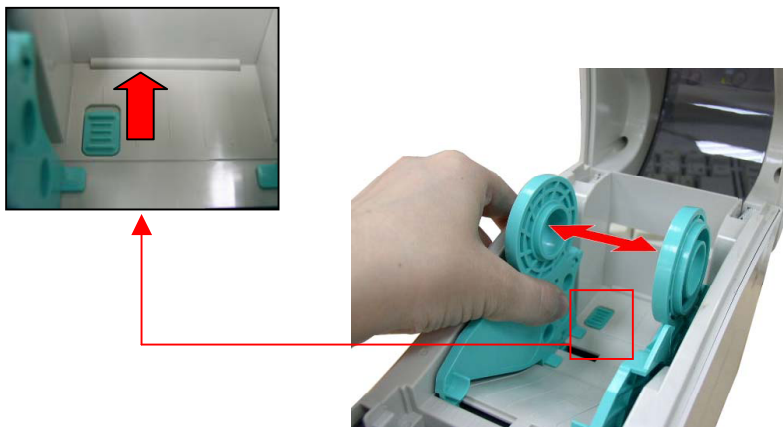


## 【ラベルのセット方法】

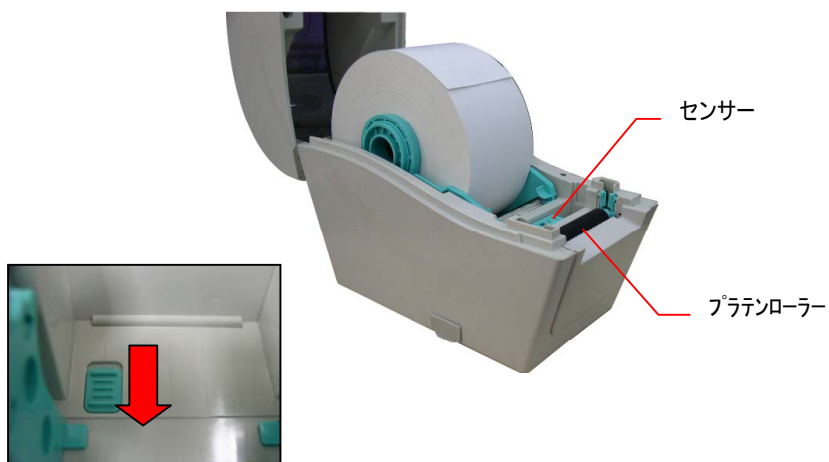
1. 下図のようにプリンタ側面にある緑色のレバーを両手で手前に引き、プリン外トップカバーを開けます。



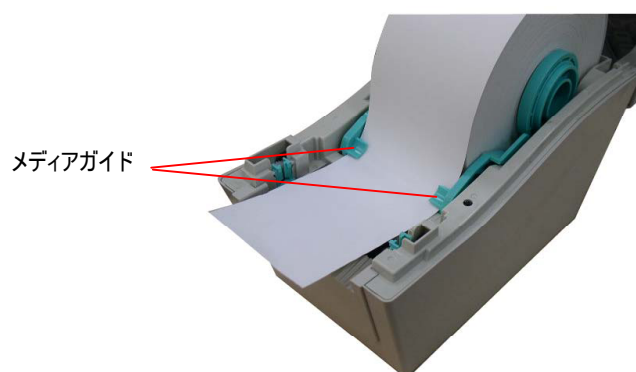
2. メディアホルダーロックスイッチを奥にスライドさせて、メディアホルダーのロックを外します。  
ラベルロールを取り付けやすいようにメディアホルダー両側に開きます。



3. ラベルロールを取り付けて、メディアホルダーの幅を合わせます。  
※用紙がスムーズに引き出せるように、用紙より少し緩めの幅に調節してください。  
幅が決まったらメディアホルダーロックスイッチを手前にスライドさせて、必ずメディアホルダーをロックしてください。



4. 下図のようにラベルの印字面を上にして、メディアガイドの下を通して、ラベルロールの先端を引き出します。

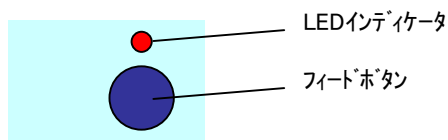


5. 最後にトップカバーを元通りに閉じれば完了です。  
【パワーオンユーティリティ】を参照して、キャップ/ブラックマークセンサーの調整を行ってください。



## 【LED インディケータとフィードボタン】

TDP-225 はオペレータに動作状態を知らせるためのLED インディケータとフィードボタンを装備しています。



## 【LED インディケータ】

下記にLED インディケータの意味を示します。

### ◆緑色LED 点灯

プリンタの電源がオンで、印刷可能状態(オンライン)であることを意味します。

### ◆緑色LED 点滅

PC からプリンタメモリにデータをダウンロード中であるか、プリンタがホース状態であることを意味します。

### ◆橙色LED 点灯

プリンタメモリのデータをクリア中であることも意味します。

### ◆赤色LED 点灯

プリンタヘッドが開いている場合やカッターエラーが発生したことを意味します。

### ◆赤色LED 点滅

印刷エラーが発生したことを意味します。原因として、プリンタヘッドが開いている、用紙切れ、ペーパージャム、メモリエラーなどが考えられます。

## 【フィードボタン】

このフィードボタンの機能は、プリンタの状態により異なります。

### ◆ラベルフィード

プリンタがオンライン状態の時、フィードボタンを押すとラベルが1枚フィードされ、次のラベルの印刷開始位置で停止します。

### ◆ホース

プリンタが印刷中にフィードボタンを押すと、印刷をホース(一時停止)します。プリンタはホース状態になると、LEDを緑色に点滅させます。フィードボタンを再度押すと、プリンタは印刷を再開します。

## 【センサー調整】

### ギャップ/ブラックマークセンサーの調整

下記の場合に、ギャップ/ブラックマークセンサーの調整を行います。

1. 新しいプリンタを導入時
2. ラベルロールを交換した時
3. プリンタの初期化をした時

下記の手順に従って、パワーオンユーティリティを起動し、ギャップ/ブラックマークセンサーの調整を行ってください。

1. プリンタの電源をオフにする。(緑色LED消灯)
2. フィードボタンを押したままプリンタの電源をオンにします。  
※この時LEDの状態は、緑色に点灯→消灯→橙色に点灯(ここまでの3秒程かかります)→「3.」へ
3. 赤色LED が5回点滅している間にフィードボタンを離します。(下記表の通り)
4. 完了すると、緑色LED が点灯します。

パワーオンユーティリティ	LEDの状態(左から右の順で状態が変化してゆきます)						
	■=フィードボタンを離す						
機能	橙色 点灯	赤色 5回点滅	橙色 5回点滅	緑色 5回点滅	緑色・橙色 5回点滅	赤色/橙色 5回点滅	緑色 点灯
ギャップ/ブラックマークセンサーの調整		■					
プリンタ初期化				■			

## 【メンテナンス】

ここではTDP-225 を運用する上で、ユーザー様に行っていただける簡単なクリーニング作業について説明します。

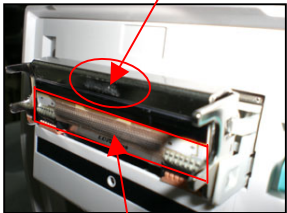
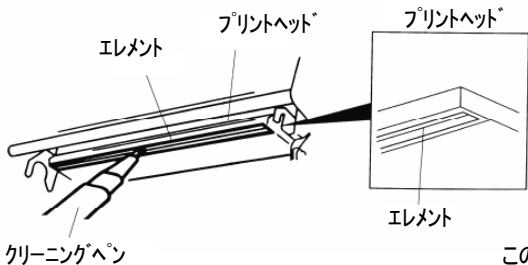
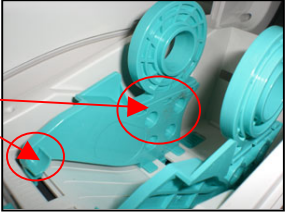
**汚れが付着すると、給排紙時のエラーの原因になりますので、定期的にクリーニング作業を行ってください。**

まず、クリーニング作業を行う前に、プリンタの電源をオフにし、プリンタに接続されているインターフェイスケーブルや電源ケーブルなどを全て取り外します。

クリーニング作業を行う場合、下記のものをご用意ください。

- ◆ クリーニングペン(なければ綿棒又は柔らかい布で代用します)
- ◆ 綿棒
- ◆ 柔らかい布(糸くずなどが出ないもの)
- ◆ 100%エタノール

下記に手順を示します。

クリーニング部分	手 順
プリンタヘッド	<p>・ プリンタヘッドの温度が下がるまで1分程度待ちます。</p> <p>・ クリーニングペン又はアルコールを適度に湿らせた柔らかい布又は綿棒を使ってプリントエレメントを優しく丁寧に拭きます。</p> <div><p>この部分は、傷が付かないように丁寧に扱ってください。保護シールは剥がさないでください。</p></div>
メディアホルダー	<p>・ 特に内側のラベルロール接触部分を、アルコールを適度に湿らせた柔らかい布又は綿棒で丁寧に拭きます。</p> <div></div>
プラテンローラー	<p>・ アルコールを適度に湿らせた柔らかい布又は綿棒でゆっくり回転させながら丁寧に拭きます。</p>
センサー	<p>・ エアブロー又はバキュームを使いクリーニングを行います。(月1度が目安です)</p>
外装部分	<p>・ 水を適度に湿らせた柔らかい布で丁寧に拭きます。</p>
内装部分	<p>・ エアブロー又はバキュームを使いクリーニングを行います。</p>

### 注意

- 静電気はプリンタヘッドに悪影響を与えます。作業を行う前に、金属のドアノブなどに手を触れ、体に帯電した静電気を必ず放電させてください。
- 必ず100%エタノールを使用してください。  
医療用アルコールなどを使うとプリントヘッドがダメージを受ける可能性があります。
- 新しいメディアに変更した時は、プリンタヘッドとセンサーのクリーニングを行うようにしてください。